

平成 19 年 12 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社ノーリツ
代表者名 代表取締役社長 神崎 茂治
(コード 5943 東証第1部、大証第1部)
問 合 せ 先 取 締 役 加 部 利 明
常務執行役員
(電話番号 078 - 391 - 3361)

株式会社ノーリツ 第3次中期経営計画 国内事業の再構築と海外事業の確立を図る

～ 急激な環境変化に対応できる経営構造に変える3年 ～

湯まわり設備の(株)ノーリツ(本社：神戸市、代表取締役社長：神崎茂治、資本金：201億円、東/大証一部上場)は、国内事業の再構築と海外事業の確立を織り込んだ2008年1月から3年間の第3次中期経営計画を策定しました。当中期経営計画では10年後のあるべき姿「湯生活満足企業」を見すえ、急激な環境変化に対応できる経営構造に変える3年間と位置づけます。

国内事業はお客さまに近い小売店ルートを強化することによりリフォーム需要を開拓、海外事業は米国、中国などこれまで進出したエリアでの収益確保などを進めます。

2010年連結業績は売上高2,150億円(2007年12月見込比20%増)、営業利益90億円(2007年12月見込比500%増)、株主価値を測る指標としてROE6%を目指します。

国内事業はリフォーム需要を開拓するため、お客さまに近い小売店ルートを強化します。給湯機器は付加価値の高い環境共生商品を拡大します。法令により安全基準が強化された厨房機器は、商材拡大なども含めて2010年には売上高360億円を達成します。システムバス、システムキッチン是他社との提携によって商品力の強化や製造コストの引き下げを図り、黒字化を達成します。

海外事業はこれまで進出してきた米国、中国、オセアニアなどのエリアでの収益性を高めます。また上海市奉賢区に建設した新工場での生産を開始します。環境・省エネルギー商品の展開によって2010年には売上高300億円まで引き上げます。

収益性改善のため固定費は、グループ会社を含め人件費および経費削減により2007年比20億円削減します。原材料費は調達方法の変更、技術開発による重要機能部品のコストダウン、内製比率の増大などに取り組み毎年10億円を低減します。

長期間使用機器の安全性確保のため20億円を投入し、体制の整備を行います。

また当中期経営計画の設備投資は200億円で、うち海外は25億円を予定しています。

資料 第3次中期経営計画

位置づけ : 10年後のあるべき姿を見すえ、急激な環境変化に対応できる経営構造に変える3年間

基本方針 : 1. 経営構造の改革
2. 品質確保・環境共生
3. 三大政策の実行による継続的な成長

経営目標(連結)

(単位:億円)

	2007年 (見込)	2008年	2009年	2010年	07年との増減
	売上高	1,790	1,860	2,000	2,150
営業利益	15	35	70	90	75
経常利益	23	42	78	100	77
当期純利益	15	20	41	55	70
ROE(%)	1.6	2.2	4.5	6.0	

平成19年10月31日付、「平成19年12月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表したものです。

品目別売上高(連結)

(単位:億円)

	2007年 (見込)	2008年	2009年	2010年	07年との増減比
	温水空調関連機器	1,236	1,255	1,340	1,425
(うち海外事業)	(142)	(200)	(250)	(300)	(111.3%)
浴室厨房関連機器	477	525	580	635	33.1%
(うち厨房機器)	(246)	(285)	(330)	(360)	(46.3%)
その他事業	77	80	80	90	16.9%
合計	1,790	1,860	2,000	2,150	20.1%

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

三大政策と3つのテーマ

・ハウレッシュ政策

お客さまに近い小売店ルート強化によるリフォーム需要の開拓、製品ライフサイクルを対象としたビジネスの展開、住設システム商品事業の黒字化によって国内事業を再構築する。

・グローバル政策

米国・中国・オセアニアなど既存進出エリアでの売上拡大、収益確保、新規エリアでの市場調査、グローバルリスクへの対応を進め海外事業を確立する。

・ニューバリュー政策

商品開発・生産コスト削減面で他の2つの政策を支援する。新エネルギー分野の先行技術開発、良質な要素技術の展開などによって、新規事業の開発を進める。